

平成24年2月8日

JR北海道C11SL列車「冬の湿原号」と台湾鐵路管理局CK124SL列車が 姉妹列車提携を結びます

JR北海道が冬期釧路にて運転をしておりますC11SL列車「冬の湿原号」と、台湾各地にてイベント運行されております「CK124SL列車」は、この度姉妹列車提携を結ぶこととなりました。

現在、北海道と台湾の交流は盛んであり、特に昨年震災後の台湾立法院長のご来道や道知事の台湾訪問と丹頂の貸与は日台友好の大きな証となりましたが、この丹頂の生息する釧路を走るSL列車「冬の湿原号」と台湾を走る日本生まれの「CK124SL列車」が姉妹列車の提携を結ぶことで、今後より多くの日台の皆様が相互に交流するきっかけとなることを期待しております。

なお姉妹列車提携に際し提携文書交換式を釧路にて行います。

1 提携の目的

双方のSL列車が持つ歴史を尊重し、北海道と台湾の人々がお互いの情報や意見を交換し、交流を深め、相互の観光に寄与し、一層の友好を高めて行くことを目的としています。

2 実施内容

(1) 姉妹列車提携文書交換式

- 日時 : 平成24年3月12日(月曜日) 10時30分より
- 場所 : 釧路駅3番ホームにて
- 参加者 : 北海道旅客鉄道株式会社 取締役釧路支社長 矢崎 義明 他
台湾鐵路管理局 未定(調整中)
- 提携記念列車 : 文書交換式後、記念ヘッドマークを付けた列車を釧路～標茶間に1往復運転し、日台の調印参加者のほか釧路地域の関係者の皆様にご試乗いただきます。

(2) 日本・台湾双方からお互いの列車乗車を体験するツアーの実施

- 夏期 : 釧路から台湾へCK124SL列車乗車を含めた台湾ツアーの実施
- 冬期 : 台湾から釧路へC11SL列車「冬の湿原号」乗車や丹頂見学ツアーの実施

[姉妹列車について]



C11SL 列車「冬の湿原号」
・平成 12 年から冬期臨時列車として運転開始。
・今年度は 1 月 21 日から 3 月 11 日と 3 月 17 日から 20 日まで運転予定。
・C11 型蒸気機関車は昭和 7 年に初製造。北海道で走る機関車は 2 両あり、それぞれ昭和 15 年と 16 年に製造。



CK124SL 列車
・イベントで運行されている。(運転日は不定期)
・CK124 は昭和 11 年に C12 型蒸気機関車として日本国内で製造。
・日本統治時代に台湾へ移転。
・戦後 CK124 と改称。
・台湾鉄道管理局が保有。

【参考】

台湾交通部 : 台湾における政府機関のひとつ。日本の国土交通省に相当。主な所管部局は鉄道管理局のほか観光局、中央気象局、郵便会社、民用航空局、高速道路局などがあります。

台湾鉄道管理局 : 台湾における国有鉄道で交通部が運営する鉄道。日本の「在来線」に相当する鉄道を運営し、台鉄（たいてつ）と略称されます。職員数13,473名、営業キロ1,085km、年間の輸送人員1億7000万人(2009年度)。なお「台湾新幹線」は民間の「台湾高速鉄道」が運営しており経営は別形態となっています。

提携に関する経緯 :

平成23年 4月 震災後、北海道の訪問団が観光誘致を目的に台湾を訪問。

5月 台湾立法院長（国会議長に相当）王金平氏が来道し、台湾に向けて北海道の安全をPR。釧路訪問と丹頂を視察。

10月 中華民国建国100周年を機とした丹頂貸与に合わせ釧路から訪問団が訪台。弊社釧路支社も同行。台湾鉄道管理局を表敬訪問し姉妹列車提携について意見交換。以降調整を進めてきました。

平成24年 2月 鉄道管理局范（ハン）局長（国鉄総裁、社長に相当）が弊社を表敬訪問、あわせて釧路を訪問しSL冬の湿原号に試乗。

JR北海道における主な姉妹提携 :

- | | |
|---------------------------|---------------|
| (1) 稚内駅と指宿駅（鹿児島県） | : 国鉄、昭和42年 |
| (2) 白石駅（北海道）と白石駅（宮城県） | : 国鉄、昭和45年 |
| (3) 小樽駅と上野駅 | : JR北海道、平成元年 |
| (4) デンマーク国鉄との姉妹鉄道提携 | : JR北海道、平成2年 |
| (5) 函館駅・青森駅・八戸駅カップルステーション | : JR北海道、平成15年 |
| (6) 白石駅（JR北海道）と白石駅（JR東日本） | : JR北海道、平成15年 |
| (7) 新千歳空港駅と成田空港駅 | : JR北海道、平成17年 |